

【コミュニティ福祉学部／コミュニティ福祉学研究科】

2016年度以降入学者向け履修要項（2022年度配付）訂正・変更一覧

(2024年3月19日時点 訂正・変更一覧)

* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子 PDF には反映をしていません

<2024年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は 2024年度版の履修要項で確認すること。
3/19	15	変更	科目ナンバリングについて	2 全学共通科目のナンバリング	言語系科目のナンバリングに複数の追加・変更が生じているので、 2024年度履修要項で確認すること。
3/19	20	変更	II 授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講	「授業形態」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は 2024年度版の履修要項で確認すること。
	134		博士課程前期課程 授業 （学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	8 学校感染症に罹患した場合の措置について	
3/19	24	変更	III-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	以下の文言を追加 (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業 60 単位上限）。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、II 授業（学習生活）を参照

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	25	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	2 履修登録上限単位数	「〈 全学共通科目の履修登録上限単位数 〉」において、 言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	38	変更	V 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」（2）※部分について以下のとおり変更 全学共通科目言語 A（英語） ↓ 全学共通科目言語系科目
					「3. 抽選登録」（2）⑥部分について 全学共通科目言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	43	変更	VI 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、 この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	149		博士課程前期課程 VI 試験・成績		
3/19	57	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業（9月卒業）とは」において 以下の文言を追加（赤字部分） 3. 申請時において、在学8学期目以降の学生であること ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学6学期以降で足りるものとする
3/19	58	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、 この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	164		博士課程前期課程 IX 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	63	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に 以下のテーマを新設 9. Russian Language & Culture 選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	141	変更	博士課程前期課程 III 履修規定（修了要件 単位について）	1 単位制度	「2. 単位の考え方」において以下の文言を 追加 3)前述の(1)(2)にかかわらず、研究指導等に ついては、これらの学修の成果を評価して単 位を授与することが適切と認められる場合 には、これらに必要な学修等を考慮して、単 位数を定める。
	176		博士課程後期課程 IV 履修規定	1. 単位制度	単位制度については、博士課程前期課程III履 修規定（修了要件単位について）「1. 単 位制度」を参照すること。
3/19	161	変更	博士課程前期課程 VII 修士論文	3. 試問・審査	以下の文言の追加
	180		博士課程後期課程 VII 博士学位申請	2. 「論文」提出に関する諸規 定 3. 「学位論文」倫理規定	・ 学位授与の方針に定めた知識、能力等を 有すると認められること
3/19	162	変更	博士課程前期課程 VIII 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了〈特別修了（9月修了）（3 月修了）申請条件〉」において以下の文言の 削除 TESOL-J

<2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/20	2	変更	教務事項の伝達について	2 教務関連 Web サービス	「授業支援システム（Canvas LMS, Blackboard 等）」など、項目の追加や 修正がされているため、「教務事項の 伝達について」は 2023 年度版の履修要 項で確認すること。
3/20	20	変更	II 授業（学習生活）	2 学期・授業	休講・補講、学校感染症の周知方法な どに変更が生じているため、この項目 は 2023 年度版の履修要項で確認する こと。
	134		博士課程前期課程 授業 （学習生活・履修計画の 立て方・オフィスアワー）	4 休講 5 補講 7 学校感染症に罹患した場合 の措置について	・ 学期に 4 半期科目の説明を追加 ・ 休講情報の掲示場所の文言を修正 ・ 補講に関する説明および掲示場所を 修正 ・ 学校感染症についての情報掲載場所 を修正

3/20	27	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	9 他学部等科目の履修について	<ul style="list-style-type: none"> ・「1. 注意事項」において下記文言を削除 「当該科目を設置している学部等の教務部掲示板, または」 ・2. 「履修登録・履修の可否」において以下の文言を修正 履修要項 → R Guide
3/20	27	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	10 派遣留学生・認定校留学生の履修	<p>「3. 帰国年度の履修登録」において以下の文言を追加（赤字部分）</p> <p>(1) 5月末日（秋学期は10月末日）まで（末日が窓口業務を行わない日の場合はその前日まで）に帰国届の提出および履修登録をした場合、（中略）必ず所属キャンパスの教務窓口を確認すること。</p> <p>※帰国年度の履修登録は帰国届を提出していることが前提となる。</p>
3/20	40	変更	V 履修登録	4 登録科目の確認について	<p>「1. 登録科目の確認について」で文言の削除と追加（赤字部分）</p> <p>Blackboard及びSPIRIT Mobile -(mobile-V-Campus)-履修登録状況画面以外の時間帯は正式な登録科目の確認には使用できないので注意すること。</p>
	146		博士課程前期課程 V 履修登録		
3/20	42	変更	V 履修登録	6 履修中止制度	<p>2. 申請した科目の扱いにおいて以下の文言を修正（赤字部分）</p> <p>(1) 成績評価：評価対象とはならない ず、成績通知表には「Q（履修中止）」と表示される。</p>
3/20	43	変更	VI 試験・成績	項目全体	<p>「レポート試験」の提出方法がWebのみとなること、各種試験方法の発表場所、「追試験」、「成績評価調査」に関することなど、項目全体を通して大幅な修正が生じているため、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <p>・「立教大学試験実施全学共通規定」の追加</p>
	149		博士課程前期課程 VI 試験・成績		

					<ul style="list-style-type: none"> ・「筆記試験」の入退室について文言を修正 ・「レポート」について提出方法など大幅な修正 ・「成績評価調査」の提出方法について修正 ・その他、試験方法発表掲示など文言の修正
3/20	56	変更	VII 卒業に関する事項	項目全体	<p>「スポーツウエルネス学部・研究科」の新設に伴う追記や、「希望留年」(※学部生のみ)、「特別卒業・修了」の記載内容に大幅な変更が生じているため、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望留年(※学部生のみ)の願出書配布・受付・許可者発表を修正 ・特別卒業、特別修了に関する願出書の配布・受付・許可者発表を修正 ・その他文言の修正
	162		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> VIII 修了に関する事項		
3/20	58	変更	VIII 学籍・学費	項目全体	<p>「休学願の配付・提出先について」、「休学中の学費について」、「退学」、「学費」に複数の変更が生じているので、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学願の配付、提出先に関する修正 ・休学中の学費に関して修正 ・退学願の配付、提出先に関する修正 ・学費通知の発送および延納制度について修正
	164		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博士課程前期課程</div> IX 学籍・学費		
3/20	62	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	<p>「3. Discipline Course」に以下のコースを新設</p> <p>6. Japanese Studies in English Program (仮称) ※2023年度新設予定</p> <p>日本の文化や社会への理解を深め、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解を育み、日本と世界を結ぶ国際性豊かな人材となるための素養を身につける。</p>
5/12	88	訂正	II 資格取得 2. 精神保健福祉士国家試験受験資格取得について	2. 精神保健福祉援助実習・演習の履修	<p>(1)精神保健福祉援助実習の履修にかかる演習等の履修について</p> <p>精神保健福祉援助実習は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必須科目である。精神保健福祉援助実習</p>

を履修する（行う）ためには、表2の通り履修及び単位修得が必要となる。

【表2】を以下に差替

精神保健福祉援助演習1および精神保健福祉援助実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目	基礎演習 社会問題のインターセクショナルリティ	(1年次春学期開講) (2年次春学期開講)
精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	ソーシャルワーク演習	(2年次春学期開講)
精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	精神保健福祉援助演習1 精神保健福祉援助実習指導1	(2年次秋学期開講) (2年次秋学期開講)
精神保健福祉援助実習を行う年度に履修が必要な科目	精神保健福祉援助演習2 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習	(3年次通年開講) (3年次通年開講) (3年次通年開講)

以下削除

(2)実習前修得必須科目

精神保健福祉援助実習を履修するために以下の3つの科目を前年度までに履修して単位を修得することが必要である。

①基礎演習

②全学共通科目言語Aディスカッション（春学期1単位）

③社会問題のインターセクショナルリティ

提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。

取得できる資格が、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「スポーツコーチングリーダー」に変更となった。指定科目等が変更となっているため、以下をよく確認すること。

[資料リンク](#)

入学前に本学以外で修得した単位の認定は、学則（「立教大学学則第2章第10条の2第1項～第10条の4第3項」）で定められている単位認定の上限60単位に含まれる。

					を履修する（行う）ためには、表2の通り履修及び単位修得が必要となる。 【表2】を以下に差替 <table border="1"><tr><td>精神保健福祉援助演習1および精神保健福祉援助実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目</td><td>基礎演習 社会問題のインターセクショナルリティ</td><td>(1年次春学期開講) (2年次春学期開講)</td></tr><tr><td>精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目</td><td>ソーシャルワーク演習</td><td>(2年次春学期開講)</td></tr><tr><td>精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目</td><td>精神保健福祉援助演習1 精神保健福祉援助実習指導1</td><td>(2年次秋学期開講) (2年次秋学期開講)</td></tr><tr><td>精神保健福祉援助実習を行う年度に履修が必要な科目</td><td>精神保健福祉援助演習2 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習</td><td>(3年次通年開講) (3年次通年開講) (3年次通年開講)</td></tr></table> 以下削除 (2)実習前修得必須科目 精神保健福祉援助実習を履修するために以下の3つの科目を前年度までに履修して単位を修得することが必要である。 ①基礎演習 ②全学共通科目言語Aディスカッション（春学期1単位） ③社会問題のインターセクショナルリティ	精神保健福祉援助演習1および精神保健福祉援助実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目	基礎演習 社会問題のインターセクショナルリティ	(1年次春学期開講) (2年次春学期開講)	精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	ソーシャルワーク演習	(2年次春学期開講)	精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	精神保健福祉援助演習1 精神保健福祉援助実習指導1	(2年次秋学期開講) (2年次秋学期開講)	精神保健福祉援助実習を行う年度に履修が必要な科目	精神保健福祉援助演習2 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習	(3年次通年開講) (3年次通年開講) (3年次通年開講)
精神保健福祉援助演習1および精神保健福祉援助実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目	基礎演習 社会問題のインターセクショナルリティ	(1年次春学期開講) (2年次春学期開講)															
精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	ソーシャルワーク演習	(2年次春学期開講)															
精神保健福祉援助実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	精神保健福祉援助演習1 精神保健福祉援助実習指導1	(2年次秋学期開講) (2年次秋学期開講)															
精神保健福祉援助実習を行う年度に履修が必要な科目	精神保健福祉援助演習2 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習	(3年次通年開講) (3年次通年開講) (3年次通年開講)															
5/18	22	変更	II 授業	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。												
	136		研究科に関わる事項 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）														
10/16	120	変更	スポーツウエルネス学科資格取得	5（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「スポーツリーダー」	取得できる資格が、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「スポーツコーチングリーダー」に変更となった。指定科目等が変更となっているため、以下をよく確認すること。 資料リンク												
10/16	32	訂正	III-3 履修規定(単位認定)	4 入学前に修得した単位の認定 (6) 認定の上限単位数	入学前に本学以外で修得した単位の認定は、学則（「立教大学学則第2章第10条の2第1項～第10条の4第3項」）で定められている単位認定の上限60単位に含まれる。												

					<p>なお、全学共通科目について、総合系科目の卒業要件単位数を超えて単位認定された場合、その単位の扱いは<u>コミュニティ福祉学部の卒業要件単位における全学共通科目超過単位の扱いと同様とする。</u>履修区分「自由科目」への算入は認めず、随意科目の単位として扱う。</p>
--	--	--	--	--	--

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
6/23	4	訂正	目次	III-2 履修規程 履修についての注意事項 11 必修科目・履修者選考を行う演習・実習の履修について 12 必修科目履修辞退制度 13 「卒業研究」「卒業研究指導演習」の履修について	削除
6/23	42	訂正	V 履修登録 6 履修中止制度	3.履修中止申請対象とならない科目	<p>ただし、全学共通科目および社会コミュニティ福祉学部専門教育科目に限り、長期療養等の事由により、審査のうえ正当であると認められた場合は、この限りではない。</p>
9/2	179	訂正	博士課程後期課程 履修規定その他注意事項	VI 試験・成績	<p>秋学期科目および通年科目の成績発表時期および成績表評価調査申請期間に関する記載を追記訂正。</p>
2/21	86	訂正	II 資格取得 1 社会福祉士国家試験 受験資格取得について	2. ソーシャルワーク実習・演習の履修	<p>(1)ソーシャルワーク実習の履修にかかる演習等の履修について ソーシャルワーク実習は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための必須科目である。ソーシャルワーク実習を履修する（行う）ためには、表2の通り履修及び単位修得が必要となる。</p>

					<p>【表 2】を以下に差替</p> <table border="1"> <tr> <td>ソーシャルワーク演習(専門)1およびソーシャルワーク実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目</td> <td>基礎演習</td> <td>(1年次春学期開講)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>社会問題のインターセクショナルリティ</td> <td>(2年次春学期開講)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーシャルワーク演習</td> <td>(2年次春学期開講)</td> </tr> <tr> <td>ソーシャルワーク実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目</td> <td>ソーシャルワーク演習(専門)1</td> <td>(2年次秋学期開講)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーシャルワーク実習指導1</td> <td>(2年次秋学期開講)</td> </tr> <tr> <td>ソーシャル実習を行う年度に履修が必要な科目</td> <td>ソーシャルワーク演習(専門)2</td> <td>(3年次通年開講)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーシャルワーク実習指導2</td> <td>(3年次通年開講)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーシャルワーク実習</td> <td>(3年次通年開講)</td> </tr> </table> <p>以下削除</p> <p>(2)実習前修得必須科目</p> <p>ソーシャルワーク実習を履修するために以下の3つの科目を前年度までに履修して単位を修得することが必要である。</p> <p>①基礎演習</p> <p>②全学共通科目言語Aディスカッション(春学期1単位)</p> <p>③社会問題のインターセクショナルリティ</p>	ソーシャルワーク演習(専門)1およびソーシャルワーク実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目	基礎演習	(1年次春学期開講)		社会問題のインターセクショナルリティ	(2年次春学期開講)		ソーシャルワーク演習	(2年次春学期開講)	ソーシャルワーク実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	ソーシャルワーク演習(専門)1	(2年次秋学期開講)		ソーシャルワーク実習指導1	(2年次秋学期開講)	ソーシャル実習を行う年度に履修が必要な科目	ソーシャルワーク演習(専門)2	(3年次通年開講)		ソーシャルワーク実習指導2	(3年次通年開講)		ソーシャルワーク実習	(3年次通年開講)
ソーシャルワーク演習(専門)1およびソーシャルワーク実習指導1を履修する前学期までに履修および単位修得が必要な科目	基礎演習	(1年次春学期開講)																											
	社会問題のインターセクショナルリティ	(2年次春学期開講)																											
	ソーシャルワーク演習	(2年次春学期開講)																											
ソーシャルワーク実習を行う前年度までに履修および単位修得が必要な科目	ソーシャルワーク演習(専門)1	(2年次秋学期開講)																											
	ソーシャルワーク実習指導1	(2年次秋学期開講)																											
ソーシャル実習を行う年度に履修が必要な科目	ソーシャルワーク演習(専門)2	(3年次通年開講)																											
	ソーシャルワーク実習指導2	(3年次通年開講)																											
	ソーシャルワーク実習	(3年次通年開講)																											

以 上

【全学共通科目】

2022年度1年次入学者向け履修要項(2022年度配付)訂正・変更一覧
(2024年3月19日時点 訂正・変更一覧)

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

＜2024年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F科目)	TOEIC → TOEIC®L&R 主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるとい旨を追記。
3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ1・2」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス1・2」
3/19	全 34 ～ 全 37	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024年度R Guide掲載の 「言語自由科目 カリキュラムの改定について」 を参照すること。

＜2023年度中の訂正・変更箇所＞ なし

＜2022年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全-36	訂正	言語系科目 自由科目科目表	科目名	ドイツ語総合B1(1) → ドイツ語総合1 ドイツ語総合B1(2) → ドイツ語総合2

以上